

市民参画の内容

■ 市民アンケートの実施について

調査目的

- ◆ 市民の地域福祉に対する意識・行動・ニーズを把握する
- ◆ 第4期計画の進捗及び結果の指標とする
- ◆ 市民ワークショップ開催に向けた参考資料とする

調査対象者・期間及び方法

- ◆ **対象者**：市内在住の満18歳以上のかた4,000人（無作為抽出）
- ◆ **調査期間**：令和5年11月30日（木）まで※11月上旬発送予定
- ◆ **調査方法**
 - ・ 定量調査及び定性調査を併用
 - ・ アンケート用紙を発送し、同封の返送用封筒を利用して返送する
 - ・ 設問数は自由意見を含め全35問

設問内容

- （1）地域との関わりについて（計6問）
 - ・ お住いを中心とした近隣の方との関係性や充実したいさせたいことなど
- （2）地域での活動について（計5問）
 - ・ ボランティアや市民活動等における参加への意欲や考え方など
- （3）健康福祉について（計8問）
 - ・ ご自身の健康福祉に関することや相談先や健康福祉に関する市の取組についての感じ方など
- （4）安全安心の取り組みについて（計9問）
 - ・ 安心できる地域か、各種福祉制度についての理解など
- （5）あなた自身について（計7問）※個人が特定されるような設問はありません

前回調査からの主な変更点

- （1）地域との関わり及び地域での活動のカテゴリにおいて、選択項目をより具体的内容に変更
- （2）安全安心の取り組みのカテゴリに、再犯防止及び個別避難に関する設問項目を追加

アンケート結果について

- ・ 回収後に単純集計
- ・ 単純集計の後に、クロス集計を実施。特に「年代」別における意識の違いや考え方などを分析
- ・ 自由記述からキーワードによる傾向などを調査

■ 中学生・高校生アンケートについて（案）

調査目的

- ◆ 中高生の地域活動への参加状況や福祉教育について、また、中高生の福祉意識・行動を把握するため
- ◆ 中高生が何を地域として考え、どのような状況にあり、どのようなコミュニティを持つのかの現状把握のため

調査対象者・時期及び方法

- ◆ **対象者**：市内在住の中学生及び市内在学の高校生
 - （1）市内在住の中学生：市内4エリア（北部・中部・南部・東部）公立中学校1～2校ずつ
 - （2）市内在学の高校生：市内の市立・私立・県立、計4校
- ◆ **調査時期**：令和5年11月下旬～12月下旬
- ◆ **調査方法**
 - ・ 定量調査及び定性調査を併用
 - ・ インターネット（WEB）方式
 - ・ 想定回答数は計2,000件（中学生・高校生各1,000件）※調査対象者は計約6,000人
 - ・ 設問は自由意見を合わせて全20問程度を予定（基本的には選択式。中高校生ともに同様設問）

設問内容

- （1）あなた自身について ※個人が特定されるような設問はありません
- （2）地域との関わりについて
- （3）地域福祉活動（ボランティア等）への参加について
- （4）居場所（コミュニティ）や相談場所について
- （5）まちづくりに関する相互理解と共生について

■ 市民ワークショップ（案）

実施目的

- ◆ 第5期地域健康福祉計画の策定にあたり市民の皆さまのさまざまな意見やニーズを把握し、これらを次期計画内容に活かすことで行政視点の計画ではなく、行政—市民相互視点の計画とする
- ◆ 市民意識を盛り込み、計画に実行性・実現性を持たせる
- ◆ 第5期計画は重層的支援体制整備事業を核として作成する想定であるが、本ワークショップへの参加を第一歩として、ご自身にも地域の健康福祉向上に繋がる活動ができるということを実感していただく

開催日時及び場所

- ◆ 令和6年1月21日（日）9時30分～12時30分 ラコルタ柏4階 集会

当日のプログラム内容

- （1）地域健康福祉計画の策定方針について ※計画の進捗や結果についても説明
- （2）有識者による講和
- （3）ローカルダイアログを使った対話ワークによるビジョンや現状の把握
- （4）レゴ@シリアスプレイ@を使ったワークによる個々人のありたい姿（理想）の抽出